

会 議 録

1 会議名

令和2年度第9回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 会長報告（公開）

ア 地域協議会会長会議の開催結果について

(2) 委員報告（公開）

ア 中学生との意見交換会に係る施設見学の実施結果について

(3) 市からの報告

ア 令和2年度地域活動支援事業の3次募集について

イ 令和2年度冬期道路交通確保除雪計画について

ウ 浦川原区町内会長連絡協議会において配布した資料について

エ その他

3 開催日時

令和2年11月27日（金）午後6時30分から午後8時00分まで

4 開催場所

菱田集会所

5 傍聴人の数

9人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：相澤誠一、池田幸博副会長、小野正広、春日清美、北澤誠、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、藤田宏禎会長、宮川勇、村松進副会長
- ・ 事務局：浦川原区総合事務所横田所長、小嶋次長、五井野次長、建設グループ渡辺グループ長、教育・文化グループ山崎グループ長、産業グループ池田班長、総務・地域振興グループ北澤班長、村松主事

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・ 会議の開会を宣言。

- ・出席者は11人。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：五井野委員に依頼。

【藤田会長】

それでは、次第の「2 報告」に入る。

「(1)会長報告」として、11月25日、水曜日の午後2時から5時まで、直江津学びの交流館で開催された地域協議会会長会議について報告する。当日の出席は、全28区の中で会長出席が25区、代理出席が3区であった。

まず、「これからのまちづくりと地域自治区」という内容で野澤副市長から講話があった。

主な内容は、自治とは「自分たちのことは自分でやる。」という意味で、地域自治区を設置する際に確認している。また、住民自治とは、「住民の意思と責任に基づいて処理される。」ということであり、実行のないところに決定はないということである。つまり、意見が異なることは当たり前であり、住みよい街にしたいということが根源にあるのならば、おおいに議論を行い、進めていくべきである。現在は、議会と市長の二元代表制であり、どちらも市民が主体であるため、市長への意見答申は非常に重たいものになるという内容であった。

講話に引き続き、3班に分かれてグループ討議が行われた。当班は、8区の会長と「自主審議」という課題を設けて自由討議を行った。

浦川原区では、8年かけて小学校の統合について自主審議を行ったという話をさせてもらった。また、大潟区では、魅力のある街の紹介として自主審議を行い、結果としてまちづくり協議会を通した形にはなかったが、街の魅力を紹介したDVDを地域活動支援事業により作成したとのことであった。自主審議については、以上の2つの区から発言があった。

その他、20人中15人が新しい委員になってなかなか話が進まないといったことや、施設の再配置について協議を行っており、他の課題に取り掛かることができないといった発言もあった。

令和3年度地域活動支援事業に係る大枠の説明も行われた。予算規模等は、令和3年2月下旬の新年度予算公表に合わせて発表される。

以上で会長報告を終わる。続いて、(2)委員報告に移る。

【村松副会長】

中学生との意見交換会に係る施設見学の実施結果について報告する。

11月18日の午後1時半から4時半まで、食品コース、名所コース、企業コースの3班

に分かれて実施した。4人の生徒が欠席であり、31人の生徒が参加した。各班の班長である委員から、どのような雰囲気であったか発表をお願いしたい。まず、1班の班長である春日委員から願います。

【春日委員】

1班の食品コースは、東屋菓子店、山本ぶどう園、(有)ファーム五十嵐の3つを回った。生徒は11人であった。

東屋菓子店では、実際にお菓子を製造している場所まで案内していただき、その中で特産品を見せていただいた。生徒から「一番のおすすめ商品は何ですか。」という質問があり、「全部がおすすめだが、その中でも大杉羊かんが一番だ。」ということであった。給食で食べている食パンを、東屋菓子店で作っているということを初めて知った生徒もいた。何よりも、東屋菓子店の人柄の良さが伝わり、浦川原の人の良さが生徒に伝わったのではないかと感じる。

山本ぶどう園では、歴史や栽培方法を教えていただいた。1年を通して作業をしているため、生徒たちもたくさんの労力が必要だということを知ったのではないと思う。加工食品等についても様々な質問が出た。

(有)ファーム五十嵐では、農業の魅力ややりがいについて熱く語っていただいた。生徒からの「どうして農業という職に就いたのか。」という質問に対し、「親の背中を見て自分もやりたいと思った。」とのことで、非常に印象深かった。

3箇所ともに共通して言えることは、商品開発として中学生自らがアイデアを出して提案したら、それを取り入れてもらえるかということについて投げかけていた。それに対して3箇所とも、ぜひ良いアイデアがあったら教えてほしいとのことであった。

また、販売方法として、「リウラとラウラのパッケージを作ったら取り入れてもらえるか。」という質問もどの場所でもしていた。これに対しても3箇所とも快い返答があった。生徒たちの中では、ある程度進む方向が決まっているような印象であった。

おやきについては、施設見学当日は浦川原物産館が定休日であったことから、見学ができなかったが、12月1日に中学校の調理室でおやき作り体験を実施することとなった。体験が終わった後に、中学生自ら何ができるのか、開発できるものを検討していきたいとのことであった。以上で1班の報告を終わる。

【池田副会長】

2班の名所コースは、虫川の大スギ、圓重寺、山田あき歌碑、六日町地内のリウラとラウラ像を回った。

中学生からの質問は、大人とは違う視点で物を考えており、大人が気付かないような質問がたくさん出て、大人が中学1年生から学ぶことがあった。

最初に虫川の大スギに行き、横田敏行氏から、樹齢1,200年以上であることや大きな枝が折れてしまった過去があることなどの説明を受けた。

次に、圓重寺で、聖徳太子の木像について住職から説明を受けた。生徒から「これは誰が作ったものか。」という質問が出たが、制作者は不明とのことだった。

続いて、山田あき歌碑を見学し、村松研氏から説明を受けた。村松氏の祖父の妹が山田あきとのことで、志を持って都会での執筆活動をしていたという話であった。

最後に、リウラとラウラ像を見学し、山崎剛氏から説明を受けた。集合写真の撮影を行ったが、生徒たちがリウラとラウラ像からなかなか離れなかったのが印象的であった。中学1年生には難しい説明もあったと思うが、生徒たちが自分なりに理解をしていて、非常に有意義であった。以上で2班の報告を終わる。

【宮川委員】

3班の企業コースは、大島区にある(株)武江組の除雪センター、新潟第一酒造(株)、(株)自然芋そばの3社を訪問した。

(株)武江組では、内山春一氏から説明を受けた。除雪をするには、夜の1時に起きて2時頃から除雪を始めるという話や、実際に機械に乗るなどの体験をした。特に機械に対する関心が強く、有意義な訪問であった。生徒からの「除雪のないときは何をしているのか。」という質問に対し、その時は土木関係の仕事をしているとのことだった。

新潟第一酒造(株)では、武田明則氏から説明を受け、お酒のできる工程に合わせて場内を見学したが、生徒たちにとっては少し難しかったのではないかと感じた。生徒から「周知の一環として、自分たちが作ったラベルを取り入れてもらえないか。」という質問が出たが、恐らく大丈夫であろうという回答であった。

(株)自然芋そばでは、生徒数の関係で工場の奥に入ることはできなかったが、古川康一氏からパンフレットに沿った説明を受けた。生徒からの「自分たちが考えたラベルを製品に貼ってもらえるか。」という質問に対し、許可が出れば実現可能ではないかという回答であった。

全体を通して、普段は会社の中を見る機会がなく、表から見ただけではその会社のことを理解することは難しいため、今回の施設見学は良かったと思う。以上で3班の報告を終わる。

【村松副会長】

私は、2班の名所コースで一緒に回った。生徒たちは、百聞は一見に如かずということで、

活発な意見でメモを取っていたことが印象的であった。

11月24日に中学生が施設見学についてまとめたものが、手元の資料である。

今後については、12月1日に浦川原中学校でおやき作りをするため、実行委員の皆さんから参加していただきたい。

また、12月15日、生徒が11月24日にまとめたものに基づき、地域協議会委員と中学生で意見交換を行うので、皆さんからの出席をお願いしたい。

1月の下旬に実行委員で生徒との打合せを行い、2月の中旬から下旬にまとめとしてプレゼンを実施する。

【藤田会長】

会長報告と委員報告を合わせて行ったが、質問等あるか。

(会場内から「なし。」の声)

続いて「(3)市からの報告」に移る。「①令和2年度地域活動支援事業の3次募集について」、事務局から説明を求める。

【五井野次長】

11月9日から12月7日までを募集期間として提案を受け付けている。募集額は29万4千円である。

周知については、11月19日に開催した町内会長連絡協議会情報交換会で募集要項を配付し、回覧を依頼した。また、総合事務所だより12月号に掲載した。11月9日の募集開始日には防災行政無線で放送し、11月29日にも再度放送する。

なお、本日までに2件の事前相談を受けている。

【藤田会長】

ただいまの説明に対して質問等あるか。

【北澤（誠）委員】

2件の事前相談を受けているということであるが、この場で公表できないのか。

【五井野次長】

提案を検討している段階であるため、この場での公表は控えさせていただきたい。

【藤田会長】

他にあるか。

(会場内から「なし。」の声)

続いて、「②令和2年度冬期道路交通確保除雪計画について」、事務局から説明を求める。

【建設グループ渡辺グループ長】

(別冊資料に沿って説明)

【藤田会長】

ただいまの説明に対し、質問等あるか。

【北澤（誠）委員】

有島地内から国道253号に出る箇所では雪の山になっている時があるため、県道及び国道における除雪の連絡調整をお願いしたい。

【建設グループ渡辺グループ長】

新潟県と調整させていただき、対応させていただきたい。

【藤田会長】

他にあるか。

【春日委員】

委員の皆さんにお聞きしたいことがある。

玄関前や車庫前の除雪は、もちろん自分の家は自分でやるということが基本であるが、身近に一人暮らしの高齢者がいた場合、何か支援していることはあるか。

【藤田会長】

熊沢町内会について、私が承知している限りでは、近所の方が高齢の方の家へ除雪機を持って行って除雪をしている。他の集落はどうか。

【村松副会長】

菱田では、集会所の除雪の係が降雪時、自主的に除雪を行っている。都合がつかない場合は、他の役員に声掛けしている。

【藤田会長】

他にあるか。

(会場内から「なし。」の声)

続いて、「③浦川原区町内会長連絡協議会において配布した資料について」、事務局から説明を求める。

【五井野次長】

浦川原区町内会長連絡協議会において配布した資料について、資料 No. に沿って説明させていただく。はじめに、資料 No. 1 のイノシシ被害の防止対策について、担当の産業グループ池田班長が説明する。

【産業グループ池田班長】

(資料 No. 1 に沿って説明)

【五井野次長】

続いて、デマンドバスの利用促進と、「浦川原区総合事務所からのお知らせ」の名称変更について説明させていただく。

(資料 No. 2 及び 3 に沿って説明)

【藤田会長】

資料に沿って説明があったが、質問等あるか。

【相澤委員】

本日午後 3 時から農協で農業振興会議があり、2 点大きな話があった。

1 つ目は、新型コロナウイルスによってお米の需給が非常に困っているということであった。

2 つ目は、イノシシについてである。営農センターでは、予算が限られており、微力ながらということではあったが、除草剤を無償提供しているとのことであった。

また、農協の青年部で、8 人が罾の免許を取得し、1 人は猟友会に所属したとのことであった。勤めているため、なかなか平日日中の研修会に出ることができないという悩みがあった。罾を仕掛ける技術は非常に難しく、勤めている方でも技術的な部分の支援を受けることができるようにしていただきたい。

また、罾の見回りが非常に大変とのことである。勤めていて見回りができないことから、罾も設置できないということがある。

罾を仕掛けても技術が伴っていない、見回りができないという現状を踏まえながら、集落との連携をどう取っていくのか検討する必要がある。補助についても勉強しなければならないと感じており、勉強する機会を設けていただきたい。

【藤田会長】

他にあるか。

【小野委員】

イノシシを捕獲した後の処分について、埋設は地元の理解も得なければならないことやその後の影響を考えると大変であるが、市で焼却処分をすることはできないのか。

【産業グループ池田班長】

焼却については焼却炉の能力の関係もあると思うが、いただいた意見を担当課である農村振興課に伝えてつなげていく。

【藤田会長】

浦川原区において、令和元年度に 2 3 頭のイノシシの捕獲実績があるが、何頭捕獲すれば

被害がなくなるのか。また、電気柵をどれだけ張ればいいのか。

電気柵を張っていくと人的被害が出てくる可能性もあり、全体的により効果的な鳥獣被害対策を行わなければならないと考えているがどうか。

【小嶋次長】

イノシシの全体の生息数を把握できていない状況であり、何頭捕獲すれば被害がなくなるということについてはお答えできない。

【藤田会長】

生息数が分からなければ、全てのイノシシを捕獲しなければ被害はなくなるのではないのか。数頭捕獲するだけでは、話題になるだけで対策になってない。

【横田所長】

浦川原区にとっても、解決に向けて早急に取り組む必要のある重要な課題だという趣旨での発言だと受け止めさせていただく。

杉坪や東俣では、実際に地域ぐるみの取組としてイノシシを捕獲している。できればそのような取組を、浦川原全体の町内会に波及させることができないかということで、説明をさせていただいた。地域ぐるみで、同じ方向性を持って取組を進めていくことで、時間はかかるかもしれないが、着実に1つ1つの課題を解決することにつながると考えている。

地域の皆さんからの協力があって成し遂げられることだと思うので、よろしく願いしたい。

【相澤委員】

会長がおっしゃるのは、スピード感が足りないということだと思う。

イノシシの頭数を減らさなければならないので、罠の免許を取る人がいても、それがスムーズに機能しないというのが1つの問題だろうと思う。

狩猟免許は、様々な助成があるようなので、できるだけ若手に取っていただきたいが、若手は平日活動できないため、普段、地域にいる方から見回っていただくなどの連携をもった浦川原独自のシステムを作っていく必要があると考えている。そういったものがなければスピード感を持って課題解決することはできずに手遅れになる。

【藤田会長】

自主審議にするかどうか、各委員お考えいただきたい。

農業団体だけに任せるのではなく、農地や山林の荒廃という大きな枠組みの中で考えていかなければ解決しない問題だと思っている。

続いて、「④その他」について、事務局から説明を求める。

【五井野次長】

前回の地域協議会で、宮川委員から意見をいただいた日向地内のカーブミラーと案内看板の表示についてである。

10月29日に現地確認を行い、カーブミラーについては、角度の調整と盤面の洗浄作業を行った。

案内看板については、新潟県が設置したものと思われることから、11月12日に上越東維持管理事務所に対して、法定寺石仏群の表示に沿って進んでも目的地にたどり着くことが困難であり、山道でカーブが多く危険であるという住民意見が寄せられている旨の申し入れを行った。申し入れに対し、観光案内看板は、上越東維持管理事務所で設置、管理していないことから、観光部署に照会するという回答であった。

また、空の里の表示についても、廃業していることから、適切に処理する必要があると申し入れを行った。

【藤田会長】

今の説明に対し、発言した宮川委員はよろしいか。

【宮川委員】

はい。

【藤田会長】

その他に意見等あるか。

【北澤（正）委員】

10月末から11月の中旬にかけて、大島区、浦川原区、安塚区の小中PTA会長名で、小中学校の合併に関するアンケートが、PTA全戸に配られた。どのような意図でアンケートを行ったのか、上越市が何か意向があって行ったものなのか知りたい。今後話として進むことになる、大変大きな話になってくると思う。何か情報をお持ちの方は教えていただきたい。

【小野委員】

統合前の小学校のPTA会長や中学校のPTA役員をしていた中で、その頃から安塚、大島の児童生徒数が少なくなっているということで、部活動の実施自体が成り立たないという話が出てきた。部活動であれば、合同チームという形でできるのではないかという話もあったが、最終的な結論が出なかった。

大浦安の学校の統合については、私の推測になるが、PTAの中で動きがあり、保護者に意見を問う目的でアンケートを実施したのではないかと考える。

【北澤（正）委員】

このアンケートについて、上越市は一切関与してないという認識でよいか。

【横田所長】

私が承知している範囲では、市としてのそのような動きは聞いていない。

【北澤（正）委員】

アンケートを実施したということについても承知していなかったのか。

【横田所長】

アンケートをPTAが実施しているということは、学校を通じて教えていただいている。

【北澤（正）委員】

了解した。今後情報があったら教えていただきたい。

また、前回の地域協議会で、春日委員からゆあみの検討委員会について発言があった。私も検討委員会のメンバーだが何もアクションがない。藤田会長の考えを聞きたい。

【藤田会長】

アクションがないのは事実である。個人的ではあるがデータ集めを行っている。その上で、検討委員の皆さんと審議を進めていきたいと考えている。

他にあるか。

（会場内から「なし。」の声）

続いて、次第の「3 協議」に移る。今回、協議事項はないが、委員の皆さんから何かあるか。

（会場内から発言無し）

では、続いて、「4 その他」に移る。次回の地域協議会は、12月23日水曜日の午後6時30分から、浦川原コミュニティプラザで開催する。

他にあるか。無ければ、第9回浦川原区地域協議会を閉じる。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。